

東海事業所・川尻地区におけるエポキシ樹脂の一部グレードの製造・販売終了について

三菱ケミカル株式会社（本社：東京都千代田区、社長：筑本 学、以下「当社」）は、当社東海事業所・川尻地区（三重県四日市市）におけるエポキシ樹脂の一部グレードの製造・販売を、2027年9月末を目途に終了することを決定しましたのでお知らせします。

1. 対象グレード

- ① ビスフェノール A 型液状エポキシ（※）
- ② ビスフェノール F 型液状エポキシ
- ③ ①②を原料とする液状／固形エポキシおよび硬化剤の一部

※ 一部、他社への製造委託による販売継続の見込みです。

2. 製造停止時期

2027年9月末（予定）

当社のエポキシ樹脂は塗料や接着剤など幅広い用途で使用されていますが、本対象グレードについては、製造設備の老朽化や事業環境の厳しさを背景に、製造の継続は困難と判断しました。

当社は「中期経営計画 2029」に基づき、事業ポートフォリオ改革を推進しています。また、経営ビジョン「KAITEKI Vision 35」において、「データ処理と通信の高度化」を注力事業領域のひとつに挙げています。今後も、半導体封止材や電子材料向け等に使用される特殊エポキシ樹脂の提供を通じて、半導体高度化を支える材料サプライチェーンに貢献していきます。

以上

<p>お問合せ先 三菱ケミカル株式会社 コーポレートコミュニケーション部 メディアリレーショングループ TEL：03-6748-7140</p>
--